



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



2018年8月3日

上場会社名 リスクモンスター株式会社
 コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 藤本 太一
 (氏名) 吉田 麻紀
 TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第1四半期 | 691 | 0.6 | 80 | 2.7 | 83 | 4.1 | 47 | 14.5 |
| 2018年3月期第1四半期 | 687 | 7.8 | 82 | 11.4 | 87 | 12.3 | 55 | 12.5 |

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 158百万円 (1.5%) 2018年3月期第1四半期 161百万円 (160.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第1四半期 | 12.23 | 12.19 |
| 2018年3月期第1四半期 | 14.19 | 13.81 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第1四半期 | 5,362 | 4,403 | 80.8 | 1,125.93 |
| 2018年3月期 | 5,279 | 4,357 | 81.3 | 1,103.29 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 4,335百万円 2018年3月期 4,292百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | | 0.00 | | 15.00 | 15.00 |
| 2019年3月期 | | | | | |
| 2019年3月期(予想) | | 0.00 | | 16.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,480 | 4.0 | 230 | 5.3 | 230 | 1.8 | 145 | 1.7 | 37.59 |
| 通期 | 2,950 | 4.9 | 430 | 6.2 | 430 | 5.3 | 270 | 3.0 | 70.06 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期1Q | 3,923,500 株 | 2018年3月期 | 3,923,500 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年3月期1Q | 72,700 株 | 2018年3月期 | 33,200 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年3月期1Q | 3,863,388 株 | 2018年3月期1Q | 3,895,113 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 5 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| 3. 補足情報 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、原材料価格の上昇や米国の通商政策の不透明感から、景気は足踏み感がみられ、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第5次中期経営計画（2016～2018年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「Japan IT Week春 第9回クラウドコンピューティングEXPO」に当社グループ全社が出展（5月）
- ・当社グループのBPO事業の中核会社であるリスモン・マッスル・データ株式会社と日本アウトソース株式会社が東京都渋谷区から東京都品川区西五反田7丁目24番5号に移転（5月）
- ・財務分析に特化した「RM財務格付」の与信判断指標を改良（6月）
- ・リスモン・ビジネス・ポータル株式会社がJ-MOTTO（ジェイモット）のオプションサービスである「Web給与明細」及び「J-MOTTOワークフロー」を個別サービスとして提供開始（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
 - 「離婚したくなる亭主の仕事」調査結果（5月）
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
- ・当第1四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「機械器具小売業」（4月）
 - 「職業紹介・労働者派遣業」（5月）
 - 「情報通信機械器具製造業」（6月）

<連結業績について>

当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | | 前年 同期比 (%) |
|---------------------------|---|-------|---|-------|------------------|
| | 対売上比 (%) | | 対売上比 (%) | | |
| 売上高 (千円) | 687,027 | 100.0 | 691,261 | 100.0 | 100.6 |
| 営業利益 (千円) | 82,508 | 12.0 | 80,268 | 11.6 | 97.3 |
| 経常利益 (千円) | 87,061 | 12.7 | 83,486 | 12.1 | 95.9 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円) | 55,261 | 8.0 | 47,259 | 6.8 | 85.5 |

(売上高)

会員数が増加したこと等から、主力の与信管理サービス等、ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）及びその他サービスにおける教育事業の売上高が堅調に増加し、BPOサービスの売上高が減少したものの、連結の売上高は691,261千円（前年同期比100.6%）となりました。

(営業利益及び経常利益)

新規会員獲得やサービス拡販のための体制強化に注力し、コールセンターの増員を行ったことやマーケティングを強化したこと、また、BPOサービスがセグメント損失となったため、営業利益はほぼ前年同期並みの80,268千円（前年同期比97.3%）、経常利益は83,486千円（前年同期比95.9%）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

BPOサービスの事務所及び国内センター移転に伴い一時費用を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は47,259千円（前年同期比85.5%）となりました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

与信管理サービス等の業績は、次のとおりであります。

| サービス分野別 | | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 前年同期比 (%) |
|-------------------|-----------------------------------|---|--------------|
| ASP・クラウドサービス (千円) | | 367,722 | 103.8 |
| コンサルティング サービス | ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス (千円) | 45,103 | 114.7 |
| | その他 (千円) | 18,877 | 80.7 |
| | コンサルティングサービス売上高 合計 (千円) | 63,980 | 102.0 |
| 売上高合計 (千円) | | 431,703 | 103.6 |
| セグメント利益 (千円) | | 61,868 | 122.5 |

当第1四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は431,703千円（前年同期比103.6%）、セグメント利益は61,868千円（前年同期比122.5%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が堅調だったことに伴い、367,722千円（前年同期比103.8%）となりました。

ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスは、ポートフォリオサービスの受注件数が増加したことに伴い45,103千円（前年同期比114.7%）と好調で、金融サービス等を含むその他の売上高が18,877千円（前年同期比80.7%）となった結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は63,980千円（前年同期比102.0%）となりました。

セグメント利益につきましても、新規会員獲得やサービス拡販のためにコールセンターの増員を行ったものの、売上高が増加したこと等により前年同期を上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

| サービス分野別 | | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 前年同期比 (%) |
|-------------------|--|---|--------------|
| ASP・クラウドサービス (千円) | | 128,560 | 99.3 |
| その他 (千円) | | 13,534 | 115.8 |
| 売上高合計 (千円) | | 142,094 | 100.6 |
| セグメント利益 (千円) | | 43,826 | 90.1 |

当第1四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高の合計は142,094千円（前年同期比100.6%）、セグメント利益は43,826千円（前年同期比90.1%）となりました。

会員数及びユーザー数が増加したことに伴い売上高は前年同期を上回りました。利益につきましては、利益率が高いディスク容量の利用が減少したことや、新規会員獲得やサービス拡販のために、お客様をサポートするコールセンターを増員したことやマーケティングを強化したこと等により、セグメント利益は前年同期を下回りました。

ウ) BPOサービスについて

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

| サービス分野別 | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 前年同期比 (%) |
|-------------------|---|--------------|
| BPOサービス売上高合計 (千円) | 80,176 | 84.2 |
| セグメント損失 (千円) | 12,765 | — |

当第1四半期連結累計期間のBPOサービスの売上高は80,176千円（前年同期比84.2%）、セグメント損失は12,765千円（前年同期はセグメント損失2,400千円）となりました。

利益率の高い既存案件の売上高が減少したこと等により、セグメント損失となりました。

エ) その他サービスについて

その他のセグメントの業績は、次のとおりであります。

| サービス分野別 | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 前年同期比 (%) |
|-------------------------------|---|--------------|
| 「教育関連事業」等を含むその他サービス売上高合計 (千円) | 72,697 | 101.6 |
| セグメント利益 (千円) | 4,633 | 159.3 |

当第1四半期連結累計期間のその他の売上高は72,697千円（前年同期比101.6%）、セグメント利益は4,633千円（前年同期比159.3%）となりました。

当第1四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v . 」の会員数が1,845会員に増加し定額の利用料が積み上がったことや、労働者派遣法の改正により社員教育強化のニーズが高まり、売上高は好調に推移しました。

また、当社グループ商材の海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）が運営する与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、656会員となりました。

セグメント利益につきましては、教育関連事業における売上高増加が寄与し、前年同期を上回りました。

<会員数について>

会員数を増やすための施策に注力した結果、当第1四半期連結会計期間末における会員数は順調に推移いたしました。会員数の推移（累計）を示すと、次のとおりであります。

| 回次 | 第15期 | 第16期 | 第17期 | 第18期 | 当第1四半期 |
|-----------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 決算年月 | 2015年 3月 | 2016年 3月 | 2017年 3月 | 2018年 3月 | 2018年 6月 |
| 与信管理サービス等（注）1 | 5,055 | 5,223 | 5,541 | 5,907 | 5,979 |
| ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）2 | 3,191 (123,625) | 3,098 (127,122) | 3,039 (127,915) | 3,058 (131,724) | 3,068 (134,210) |
| その他（注）3 | 1,847 | 2,084 | 2,258 | 2,475 | 2,501 |
| 会員数合計 | 10,093 | 10,405 | 10,838 | 11,440 | 11,548 |

（注）1. サービス相互提携を行う会員を含む

2. () は外数でユーザー数

3. 定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v . 」または中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員

4. 会員数は当社に登録されているID数

なお、上記においては重複登録している会員が一部おります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ84,703千円減少し、2,332,139千円となりました。これは主に、自己株式の取得や、税金及び配当金の支払い等により現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ167,481千円増加し、3,030,637千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ82,778千円増加し、5,362,777千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ11,934千円減少し433,801千円、固定負債は49,040千円増加し525,859千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ37,105千円増加し、959,661千円となりました。

純資産は、投資有価証券の時価評価等により前連結会計年度末と比べ45,673千円増加し、4,403,116千円となりました。また、自己資本比率は80.8%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度末に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で比較を行っております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,950百万円（前連結会計年度比104.9%）、営業利益430百万円（前連結会計年度比106.2%）、経常利益430百万円（前連結会計年度比105.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益270百万円（前連結会計年度比103.0%）を予定しております。

業績予想に対する当第1四半期連結累計期間の進捗につきましては、売上高、利益ともにほぼ当初の予定どおり進捗しており、現時点におきましては、連結業績予想の変更はございません。

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益 |
|--------------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 2018年9月中間期予想 | 1,480 | 230 | 230 | 145 |
| 2017年9月中間期実績 | 1,423 | 218 | 225 | 142 |
| 前年同期比（%） | 104.0 | 105.3 | 101.8 | 101.7 |
| 2019年3月期予想 | 2,950 | 430 | 430 | 270 |
| 2018年3月期実績 | 2,811 | 404 | 408 | 262 |
| 前連結会計年度比（%） | 104.9 | 106.2 | 105.3 | 103.0 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,813,891 | 1,796,336 |
| 受取手形及び売掛金 | 376,995 | 366,442 |
| 有価証券 | 99,999 | 99,999 |
| 原材料及び貯蔵品 | 12,468 | 11,481 |
| その他 | 114,337 | 59,090 |
| 貸倒引当金 | △849 | △1,210 |
| 流動資産合計 | 2,416,843 | 2,332,139 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 540,301 | 553,268 |
| 減価償却累計額 | △75,225 | △80,584 |
| 建物及び構築物（純額） | 465,076 | 472,684 |
| 工具、器具及び備品 | 450,915 | 459,627 |
| 減価償却累計額 | △361,890 | △365,319 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 89,025 | 94,308 |
| 土地 | 568,352 | 568,352 |
| リース資産 | 4,860 | 4,860 |
| 減価償却累計額 | △3,240 | △3,442 |
| リース資産（純額） | 1,620 | 1,417 |
| 建設仮勘定 | 200 | 30 |
| 有形固定資産合計 | 1,124,274 | 1,136,793 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 557,782 | 562,102 |
| その他 | 45,043 | 46,748 |
| 無形固定資産合計 | 602,826 | 608,850 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,088,506 | 1,239,864 |
| その他 | 47,549 | 45,274 |
| 貸倒引当金 | — | △145 |
| 投資その他の資産合計 | 1,136,055 | 1,284,993 |
| 固定資産合計 | 2,863,155 | 3,030,637 |
| 資産合計 | 5,279,998 | 5,362,777 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 204,920 | 209,591 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 60,160 | 60,160 |
| 未払法人税等 | 70,088 | 24,977 |
| 賞与引当金 | 740 | 370 |
| その他 | 109,826 | 138,702 |
| 流動負債合計 | 445,736 | 433,801 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 335,960 | 328,420 |
| 退職給付に係る負債 | 7,626 | 7,886 |
| その他の引当金 | 7,027 | 8,119 |
| その他 | 126,204 | 181,434 |
| 固定負債合計 | 476,819 | 525,859 |
| 負債合計 | 922,555 | 959,661 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,155,993 | 1,155,993 |
| 資本剰余金 | 1,007,130 | 1,007,130 |
| 利益剰余金 | 1,836,467 | 1,825,372 |
| 自己株式 | △48,070 | △102,714 |
| 株主資本合計 | 3,951,520 | 3,885,781 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 327,909 | 437,464 |
| 為替換算調整勘定 | 12,689 | 12,481 |
| その他の包括利益累計額合計 | 340,598 | 449,945 |
| 新株予約権 | 157 | 157 |
| 非支配株主持分 | 65,166 | 67,231 |
| 純資産合計 | 4,357,443 | 4,403,116 |
| 負債純資産合計 | 5,279,998 | 5,362,777 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日） |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 687,027 | 691,261 |
| 売上原価 | 319,018 | 315,357 |
| 売上総利益 | 368,008 | 375,903 |
| 販売費及び一般管理費 | 285,500 | 295,635 |
| 営業利益 | 82,508 | 80,268 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 282 | 32 |
| 受取配当金 | 4,572 | 6,003 |
| 投資事業組合運用益 | 1,581 | — |
| その他 | 267 | 161 |
| 営業外収益合計 | 6,704 | 6,197 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,161 | 1,004 |
| 投資事業組合運用損 | — | 1,396 |
| その他 | 990 | 578 |
| 営業外費用合計 | 2,151 | 2,979 |
| 経常利益 | 87,061 | 83,486 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | 344 | 6,944 |
| その他 | 4 | 643 |
| 特別損失合計 | 349 | 7,588 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 86,711 | 75,898 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,344 | 21,527 |
| 法人税等調整額 | 15,553 | 5,142 |
| 法人税等合計 | 28,898 | 26,670 |
| 四半期純利益 | 57,813 | 49,227 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,552 | 1,968 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 55,261 | 47,259 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 57,813 | 49,227 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 102,795 | 109,717 |
| 為替換算調整勘定 | 420 | △273 |
| その他の包括利益合計 | 103,215 | 109,443 |
| 四半期包括利益 | 161,028 | 158,671 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 158,352 | 156,606 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,675 | 2,065 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------------|---|-------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 与信管理 サービス等 | ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等) | BPO サービス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 416,091 | 140,999 | 84,516 | 641,607 | 45,419 | 687,027 | — | 687,027 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 781 | 180 | 10,714 | 11,676 | 26,163 | 37,840 | △37,840 | — |
| 計 | 416,873 | 141,180 | 95,230 | 653,284 | 71,583 | 724,867 | △37,840 | 687,027 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 50,494 | 48,638 | △2,400 | 96,733 | 2,909 | 99,642 | △17,134 | 82,508 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------------|---|-------------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 与信管理 サービス等 | ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等) | BPO サービス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 431,075 | 141,848 | 70,009 | 642,932 | 48,328 | 691,261 | — | 691,261 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 628 | 246 | 10,167 | 11,042 | 24,368 | 35,410 | △35,410 | — |
| 計 | 431,703 | 142,094 | 80,176 | 653,974 | 72,697 | 726,672 | △35,410 | 691,261 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 61,868 | 43,826 | △12,765 | 92,929 | 4,633 | 97,563 | △17,294 | 80,268 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー ※1 | 13,810 | 176,152 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー ※2 | △81,162 | △74,401 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー ※3 | △133,904 | △118,838 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 143 | △468 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △201,112 | △17,555 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,030,367 | 1,812,746 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,829,255 | 1,795,190 |

| 前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) |
|---|---|
| 主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 86,711 減価償却費 73,229 法人税等の支払額 △102,452 ※2 有形固定資産の取得による支出 △20,963 無形固定資産の取得による支出 △71,824 ※3 配当金の支払額 △48,644 自己株式の取得による支出 △77,516 | 主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 75,898 減価償却費 74,692 法人税等の支払額 △61,435 ※2 敷金の回収による収入 12,448 有形固定資産の取得による支出 △32,048 無形固定資産の取得による支出 △60,351 ※3 配当金の支払額 △56,445 自己株式の取得による支出 △54,644 |